

# 郷音

山形県立産業技術短期大学校庄内校

【きょうおん】  
ふるさとの言葉づかい  
国なまりという意。

SHONAI COLLEGE OF INDUSTRY & TECHNOLOGY



【教育振興会会報】 令和3年11月1日発行

第34号



令和3年7月2日（金）ⅠT会計ビジネス科1年生が、地域社会論のフィールドワークとして、庄内町清川歴史公園（清川関所跡）を訪れ、芭蕉の石碑や戊辰戦争で庄内藩と新政府軍が戦った古戦場「御殿林」を散策しました。

清河八郎記念館内では、明治維新に大きな役割を果たしたといわれる清河八郎の生い立ちやその活動を学び、さらに羽黒山では、随神門から敷き詰められた石段を下り、立ち並ぶ杉並木とともに国宝羽黒山五重塔等を観察し、郷土の代表的な名所旧跡について学びました。

## 目次

ごあいさつ、夢と希望に燃える令和3年度入学生・P2  
2年目を迎えた新型コロナウイルス感染症の影響  
について・・・・・・・・・・・・・・・・・・P3  
会員企業のご紹介・・・・・・・・・・P4  
各学科の教育活動・PR・・・・・・・・P5～6  
企業実習（体験記）・・・・・・・・P7

卒業研究発表会テーマ一覧・・・・・・・・P8～9  
令和2年度進路状況、就職先企業のご紹介・・・P10  
受賞に輝く卒業生  
令和4年度学生募集・・・・・・・・P11  
新任職員等紹介・・・・・・・・P12  
編集後記



## ごあいさつ

山形県立産業技術短期大学校庄内校  
教育振興会 会長 弦 巻 伸

山形県立産業技術短期大学校庄内校は、技術の進展が著しい現代社会に対応できる人材を庄内で育成してほしいという、私たち庄内の産業界の要請に应运えて平成9年に開校され、以来、当地域の即戦力となる優秀な人材を多数輩出いただいております。

皆様には、学生の企業実習や校外学習などの実践的な職業能力開発へのご支援を賜るとともに卒業生の採用についてもご尽力をいただき、感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の出現は、私たちのライフスタイル、企業経済活動をはじめあらゆる方面に多大な影響を及ぼしています。こうした中でこそ、困難な状況にも果敢に立ち向かうことのできる技術者・経済人が地域の中で育ち、定着していくことの重要性が更に高まっているのではないのでしょうか。

当教育振興会としましては、庄内校の学びを止めることなく教育訓練活動を支援するとともに、学生が地元企業に定着するよう働きかけ、地域産業の振興に寄与して参りたいと考えております。皆様には、今後とも庄内校への温かいご協力をお願いしますとともに、会員企業の益々のご繁栄を祈念いたします。

## 夢と希望に燃える令和3年度入学生



### 生産エンジニアリング科 柴田 純大

即戦力となるエンジニアを目指して入学しました。総合学科出身で初めて学ぶことが多く不安でしたが、先生が丁寧に教えてくださり国家資格である技能検定（機械加工普通旋盤作業）にも合格することができました。将来は機械加工や CAD などの知識が生かせる企業で働きたいと思っています。これからも資格取得、勉強を頑張り多くのスキルを習得したいです。

### 情報通信システム科 小林 琉生



私は、この学校で自らが進んで行動して学ぶことで、地元を活性化させる ICT 技術者になりたいと思っています。日々の授業への取り組み方を考えながら学習を進め、地元を活性化させるために自分の得意な分野を見極めて、どのように活躍していきたいのかを考えたいと思います。このように地元の企業で働くためには、コミュニケーション能力を高める必要があると思っています。高校生の時に学んだ情報の技術や知識などを基にさらに学習を進めながら、実習などでのグループ活動ではコミュニケーション力を高められるように頑張りたいと思います。

### IT会計ビジネス科 五十嵐 結衣



私は、高校の先輩が、IT 会計ビジネス科の前身、国際経営科卒業だったため当校に興味を持ち入学しました。そこで、簿記に出会いこの知識をものにして仕事で活かしたいと思いました。私は、普通科出身で初めての商業科目だったので授業についていけるか不安でしたが、当校の特徴である少人数教育のおかげで、授業の密度が濃く、意欲的に学習に取り組むことができています。

私は、これから在学中に簿記はもちろん様々な資格を取得して将来的には取得した資格を活かして地元企業の発展に貢献していきます。





## 2年目を迎えた新型コロナウイルス感染症の影響について

山形県立産業技術短期大学校庄内校  
校長 尾形 健明

教育振興会の皆様には、日頃から、本校の学校運営、学生の教育訓練、企業実習や就職などにつきまして、多大な御支援や御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、今年も新型コロナウイルスで苦しめられています。本校の教育に及ぼすコロナの影響をよもや2年続けてご報告することになるとは想像しておりませんでした。この歴史的な感染の影響は記録に留めるべきであると考え、筆を執らせていただいた次第です。

昨年度はコロナウイルスにひたすら怯えた1年でした。本校においても様々なイベントが規模の縮小や中止に追い込まれました。卒業式の規模を縮小しての実施、入学式の中止を始めとして、影響を受けたイベントが数多くありました。

しかし、今年度は感染予防をさらに徹底することで、いくつかの行事を再開しています。また、ワクチン接種が始まるなど、アフターコロナを考える段階に入ったことも行事再開を後押ししています。いつまでも守りだけではなく、攻めに転じる必要があると考えています。

3月18日の卒業式では、弦巻会長様のご臨席をいただき、22名の卒業生を送り出しました。令和3年3月までの本校の卒業生は900名を超え、85%以上の卒業生が県内企業に就職して活躍中です。就職率については、コロナによる悪い影響が出ることが予想されましたが、100%を達成することができました。これもひとえに、教育振興会の皆様の御理解と御支援の賜物であり、深く感謝申し上げます。

今年度の入学式は4月6日に本校体育館において開催しました。入り口対策が功を奏したのか、あるいはコロナのために地元を優先したのか、今年度の入学生は43名、定員の70%に達し、例年になく多くの新入生と保護者（1名に限定）が参加した入学式になりました。入学式の実施では十分な感染防止対策をとりましたが、その後の授業においても同様に、体温測定、手指消毒、マスク着用、ドアノブの定期的消毒、こまめな換気、座席間距離の確保、アクリルパーテーションの設置など、徹底した対策をとって、現在に至っています。また、今後の各種イベントについても同様の感染防止策を講じることに加え、万が一の事態に備えたオンライン授業体制を整備しております。

私どもは学生と教職員の安全を第一に捉え、コロナに負けないよう努力を続けてまいりますので、引き続き御支援、御鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



文治五年創業



# 伊藤鉄工株式会社

## ■ 会社概要

創 業 文治5年（西暦1189年）  
設 立 1989年7月1日  
資 本 金 1000万円  
代 表 者 代表取締役社長 伊藤 学  
従業員数 23名（2021年9月現在）  
事 業 所 鶴岡市矢馳字下矢馳44番地の1  
U R L <https://www.itotekko.co.jp/>



▲本社工場

## ■ 同社のご紹介

### 【概 要】

当社は創業800年余の、日本でも有数の老舗企業です。代々、鋳物師として家業を引き継いでまいりました。現在では、溶接と機械加工を中心に、流体機械や建設機械などに使用されるものづくりで、社会に貢献しております。

### 【沿革】

源頼朝の御家人、武藤氏に仕える鋳物師として、文治5年(西暦1189年)に創業。蒙古襲来の折には、羽黒山若甕時に奉納された梵鐘（国の重要文化財）を鋳造しました。

江戸期には活動の範囲を広げ、秋田や北海道などにも作品を残しています。明治に入ると電動機2台を導入して近代化を果たし、平成元年には歴史ある鋳物業を廃して伊藤鉄工有限会社を設立しました。

現在は伊藤鉄工株式会社として、時代の流れに合わせて、事業を営んでまいりました。

### 【取扱製品】

流体機械部品（バルブやポンプなど）  
電磁流量計管体  
建設機械部品  
圧力容器（タンクや熱交換器など）  
各種装置部品など



▲CNC 立形旋盤



▲電磁流量計の溶接作業





## 情報通信システム科

教育振興会会員企業の皆様には、日頃、様々なご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。新学科名の情報通信システム科1期生である2年生につきまして、多くの学生が地元企業に内定をいただきました。これもひとえに会員企業の皆様方のご支援の賜物と感謝申し上げます。

2年生は入学以来、コロナ禍で様々な制約を感じながらの学生生活でしたが、10月からは目標とするICT技術者としての総仕上げとして、ビッグデータやAI、IoTなどの活用技術について「卒業研究」にて取り組んで参ります。この卒業研究は、大きな課題に対して、チームで解決方法を見出し、実践能力を養うものです。令和3年2月下旬に卒業研究発表会を実施する予定です。多くの振興会企業の皆様方にご来校いただき、ご指導ご鞭撻を賜れば幸いに存じます。

1年生は女子学生が5名おり、例年に増して華やかな雰囲気の中、各自、「システムエンジニアになりたい」、「情報処理技術者試験に合格したい」、「ビッグデータやAIの学習に頑張りたい」と目標を持ちながら、日々学習に頑張っています。コロナ禍で多くの校外学習が中止となってしまいましたが、振興会企業の皆様のご協力により11月には企業実習を実施できる運びとなりました。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

冬にかけて、新型コロナウイルスの感染再拡大が懸念されておりますが、今後ともご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

## IT会計ビジネス科

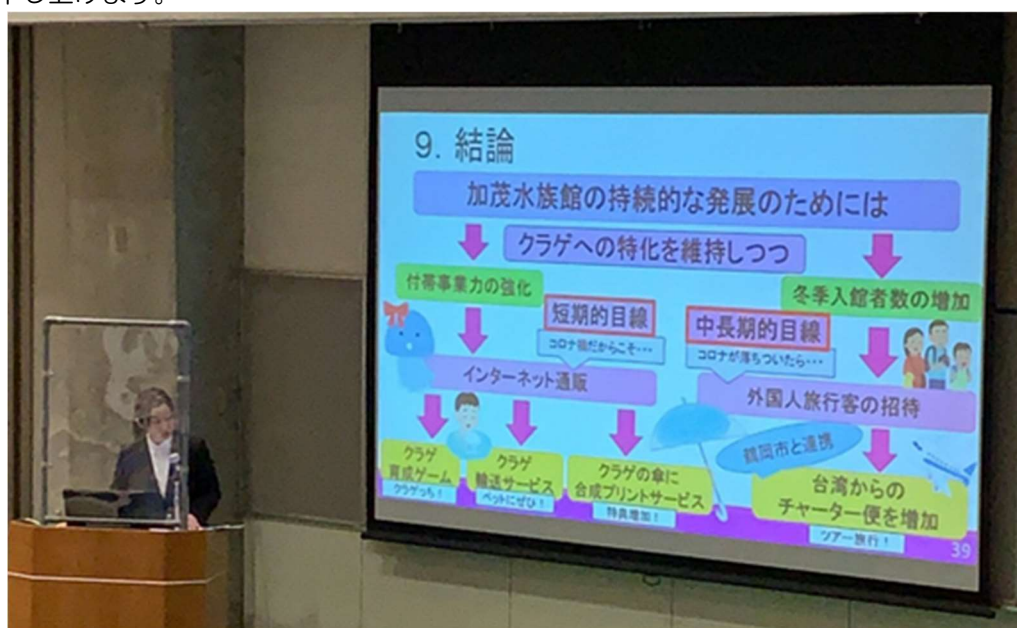
令和2年度、国際経営科(現IT会計ビジネス科)2年生が学科としては開校以来初となる清水賞を受賞いたしましたので紹介いたします。

清水賞は、山形県立産業技術短期大学校、同庄内校において、学校生活のなかで進取の気を培って学習の成果をあげ、今後大いに活躍しようという志に燃える学生を顕彰する賞です。

令和2年度は令和3年3月5日に山形県立産業技術短期大学校(山形市)にて清水賞審査会が開催され、国際経営科からは2年海谷美怜さん(鷹鷲ゼミ所属)が「水族館の持続的な発展に関する一考察 - 鶴岡市立加茂水族館を舞台として - 」とのテーマでプレゼンテーションを行い、審査の結果、清水賞を受賞いたしました。

本研究は、少子化の進展に伴う観客動員数の減少や自治体財源の縮小により、日本の水族館はより自立した運営が不可欠となっていくなかで、地元有数の観光資源である加茂水族館が、今後の持続的な発展のためには何が必要なのかを様々な視点から考察したもので、地域経済の活性化に結び付く内容となっております。

IT会計ビジネス科におきましては、今後とも教育振興会会員企業様をはじめとする地元企業の皆さまや地元の各組織・団体の皆さまと緊密に連携し、地域の課題に向き合ってまいりますので、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



写真：令和2年度清水賞審査会の様子

# 全学科企業実習

学生が企業社会の実情に触れ、職業人としての自覚と学習意識の向上を図るため、3学科の1年生全員を対象に11月から2月にかけて企業の皆様のご協力を得て、企業実習を実施しました。

## 実習先：阿部エンジニアリング株式会社

生産エンジニアリング科2年 梅木 睦耶

私は、阿部エンジニアリング株式会社で企業実習を行わせていただきました。この会社では顧客の依頼に応じた産業機械の設計・製造・据付工事・メンテナンスまでの全工程を自社で行っております。実習では、加工品を図面に書き起こしたのち、自分たちの手で切削加工などを行ったり、実際に企業に納入した製品などを見学させていただきました。実習を通して仕事に対する熱意や責任を学ぶことが出来ました。

ご指導して下さいました、阿部エンジニアリング株式会社の皆様方、本当にありがとうございました。



## 実習先：株式会社日情システムソリューションズ 情報通信システム科2年 岩間 一真

私は、株式会社日情システムソリューションズで、システム開発に関する業務を経験させていただきました。

初日には業務に使われているデータベースの種類や、それぞれのSQL文の違い等についてご指導を頂きました。

実習を通して最も印象的なことは、データベースの命名です。個人で開発するのとは異なり、多くの人が携わるシステム開発において、命名規則等を統一する重要性を実感しました。システムのテスト環境のデータベースを実際に利用する際、初めは膨大な項目に圧倒されましたが次第に項目名等の規則性が理解でき、膨大な中から必要な項目を探して機能を実装することが出来ました。株式会社日情システムソリューションズの皆様にご指導いただいた経験を糧に、精進して参ります。



## 実習先：株式会社山形銀行

IT 会計ビジネス科2年 豊岡 美南

私は、山形銀行で企業実習を行わせていただきました。

実習では、支店長講話や工場見学などで様々なことを学び、普段の学校生活では学習することのできないとても貴重な体験をさせていただきました。

5日間という短い期間の中で、仕事に対する責任感ややりがい、プライドを持って仕事を行うなど直接ご指導いただきました。自分に足りないところばかりで新しい課題も見つけることができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。

山形銀行の皆様、たくさんのことを教えていただき本当にありがとうございました。



(紙面の都合上、受入れいただいた企業への感想等全てを掲載できなかったことをご容赦ください。)



## 卒業研究発表会 『テーマ』 一覧 《令和2年度卒業生》

令和3年2月24日から25日までの2日間、本校の大講義室等において令和2年度卒業生の卒業研究発表会を開催しました。2年間の集大成として取り組んだテーマの要旨を掲載していますが、詳細については、指導教員にお問い合わせください。

令和3年2月25日（木）

| 番号 | テ ー マ                                  | 概 要                                                                                                | 発表学生          | 指導教員  |
|----|----------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|-------|
| 1  | 小型DCモータの実験装置製作と制御実験                    | DCモータの実験装置を製作し回転制御などの実験を行う。                                                                        | 佐久間圭斗         | 宮下 智  |
| 2  | エコラン競技車両の製作                            | 本田宗一郎杯 Honda エコマイレッジチャレンジ全国大会出場に向けた車両の製作をした。                                                       | 佐藤 巧<br>平山 息吹 | 津田 勇  |
| 3  | 空気圧制御の機器を活用したマスク着用時の不快感軽減装置の開発         | 新型コロナウイルス感染症拡大化、マスクの常時着用が義務付けされるようになっている。本研究ではマスク着用時の不快感の原因を調べ、空気圧制御機器の技術を応用した不快感を軽減する装置を検討し、開発した。 | 高橋 蒼麻         | 新居 徹哉 |
| 4  | 技能検定機械検査2級実技試験（計画立案等作業試験）の教材開発 ～品質管理編～ | 技能検定機械検査2級実技試験（計画立案等作業試験）で出題される品質管理に関するテキスト教材を開発した。                                                | 渡部 真帆         | 飛田 成浩 |
| 5  | ネットワークを用いた制御システムの製作                    | 過去に製作された信号機模型 2 基を用いて、連携した動作などを実現させるためにネットワーク(Ethernet)による制御システムの実現を目指す。                           | 渡会 達也         | 佐藤 義則 |

令和3年2月25日（木）

| 番号 | テ ー マ                                       | 概 要                                                                                                                                                                  | 発表学生                             | 指導教員           |
|----|---------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|----------------|
| 1  | 農産物生産データ管理システムの開発とデータ活用の検討                  | 庄内地方でのベビーリーフのハウス栽培向けに、生産データ管理システムを開発した。また、システムに蓄積した生産データと気象データを利用し、収穫量や選別によって生じるロス量との関連を分析する。これにより収穫量やロス率の予測に活用できるか検討する。                                             | 庄司 光平<br>本間 裕哉<br>五十嵐 萌衣<br>金内 諒 | 工藤 智子<br>開沼 和広 |
| 2  | AI を活用したゴミの分別と回収アシストシステム～護美箱キャシー (cache-) ～ | AI とIoT の技術を活用することにより、ゴミの分別と回収作業をアシストするシステムを開発した。カメラ画像に映ったペットボトル、カン、ピンを識別し、捨てるべきゴミ箱を案内する。さらに、子供が進んでゴミを捨てることを習慣化するために、捨てることで操作できるようになるイベントの発生機能を実装した。                 | 菅原 大河<br>富樫 大智<br>齋藤 百花          | 萬年 亨<br>芝田 浩   |
| 3  | Google Maps データを利用したランニングゲームの開発～どこでもランナー～   | Google Maps の最新地形データをもとに作成した世界各地のコースを、遠隔地にいる人とネットワークを介してゲーム形式で競いながらランニングできるルームランナーを開発した。これにより、利用者はコロナ禍による在宅でも健康促進が期待でき、過去にランニングした日時やコース、走行距離、消費カロリーの記録を閲覧することが可能となる。 | 岡部 航平<br>菅原 悠聖<br>後藤 圭吾<br>下山みやび | 渡辺 雄二<br>吉田 明弘 |



令和3年2月24日（水）

| 番号 | テ　　マ                                                       | 概　　要                                                                                                                                        | 発表学生  | 指導教員  |
|----|------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|
| 1  | 予防給付におけるサービスの考察<br>ー地域包括ケアシステムの展望ー                         | 介護保険制度の中にある利用者本位という方針の基で行われている予防給付におけるサービスについて分析し、課題や解決策を考察した。また、他県と遊佐町が推進している事業やボランティア活動との連携・支援についての比較をし、地域包括ケアシステムの展望を探った。                | 鳥海　優佳 | 高橋　永子 |
| 2  | 水族館の持続的な発展に関するー考察<br>ー鶴岡市立加茂水族館を舞台としてー                     | 将来的に観光動員数が減少していく可能性が高い中で、日本の水族館経営は今まで以上に効果的な運営を行わなければならない。そこで、本研究では、庄内地方有数の観光資源である加茂水族館が今後も持続性を持って発展していくためには何が必要なのか、考察を行った。                 | 海谷　美怜 | 鷹觜　直也 |
| 3  | ドラッグストアにおける折込チラシ<br>広告の効果に関するー考察<br>ードラッグストア酒田市A店の事例ー      | ドラッグストアに来店するお客様がどのような消費行動をしているのかを、折込チラシの商品の種類、値段の違いなどを調べ、消費者は「広告チラシを見て来店しているのか」の検証を行い、折込チラシ広告の効果について考察する。                                   | 仲條　莉央 | 吉田　勝紀 |
| 4  | 日本国内における玩具市場の現状と<br>メーカーの商品展開についての考察<br>ーバンダイ、タカラトミーを例としてー | 近年の日本国内の玩具市場は、少子化などの影響を受けて大きな変化を迎えている。本研究では、その市場の現状と国内玩具メーカーの中で最大手と言われるバンダイとタカラトミーの商品展開の傾向を分析し、両社の課題とその対応策を考察した。                            | 大佐賀　渉 | 佐々木　健 |
| 5  | 保育サービスの現状と今後のあり方に関するー考察<br>ー保育サービスを提供する上場企業の経営データを手がかりにー   | 女性が活躍できる社会を実現するには、充実した保育サービスが提供されることが必要不可欠である。そこで本研究では、公開される情報量の豊富な上場企業の経営データを手がかりに保育サービスの現状を把握するとともに、各国の保育制度なども参考に今後の保育サービスのあり方について考察を行った。 | 丸山　波月 | 原田　文規 |

## 令和2年度 進路状況

| 項目<br>学科名 | 卒業生 | 就職<br>希望者 | 就職<br>内定者 | 地域別内訳    |          |          |          |     |     | 就職<br>内定率<br>(%) |
|-----------|-----|-----------|-----------|----------|----------|----------|----------|-----|-----|------------------|
|           |     |           |           | 庄内<br>地区 | 村山<br>地区 | 最上<br>地区 | 置賜<br>地区 | 県内計 | 県外計 |                  |
| 制御機械科     | 6   | 6         | 6         | 3        | 0        | 0        | 0        | 3   | 3   | 100              |
| 電子情報科     | 11  | 11        | 11        | 9        | 1        | 0        | 0        | 10  | 1   | 100              |
| 国際経営科     | 5   | 5         | 5         | 2        | 1        | 0        | 0        | 3   | 2   | 100              |
| 計         | 22  | 22        | 22        | 14       | 2        | 0        | 0        | 16  | 6   | 100              |

## 就職先企業のご紹介（五十音順・敬称略）

| 制御機械科         | 電子情報科                        | 国際経営科               |
|---------------|------------------------------|---------------------|
| 社会福祉法人三幸福社会   | 株式会社SIG                      | サンケアホールディングス株式会社    |
| 株式会社庄内クリエート工業 | オビサン株式会社                     | 株式会社スタンレー鶴岡製作所      |
| TDK庄内株式会社     | オリエンタルモーター株式会社<br>鶴岡中央事業所    | 株式会社ツルハ             |
| 日本ビルコン株式会社    | 株式会社管理システム                   | パイプ・ラインエンジニアリング株式会社 |
| フジテック株式会社     | 医療法人健友会本間病院                  | 東根市農業協同組合           |
| 株式会社ブルボン      | ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社    |                     |
|               | TDK庄内株式会社                    |                     |
|               | 株式会社DNPデジタルソリューションズ          |                     |
|               | 株式会社日情システムソリューションズ           |                     |
|               | 株式会社プレステージ・インターナショナル山形BPOパーク |                     |

## 受賞に輝く卒業生

令和2年度卒業式が3月18日に行われ、卒業研究や2年間の学業成績が特に優秀だった学生、学習へ取り組む姿勢や日常活動が他の模範となった学生が表彰されました。

|         |       |       |
|---------|-------|-------|
| 山形県知事賞  | 電子情報科 | 菅原 大河 |
| 学校長賞    | 制御機械科 | 佐藤 匠  |
|         | 国際経営科 | 大佐賀 渉 |
| 教育振興会長賞 | 制御機械科 | 渡部 真穂 |
|         | 電子情報科 | 岡部 航平 |
|         | 国際経営科 | 海谷 美怜 |



山形県知事賞を受賞する菅原大河さん



# 令和4年度学生募集

## 1 募集科・募集定員

|                   |     |
|-------------------|-----|
| 生産エンジニアリング科       | 20名 |
| 情報通信システム科         | 20名 |
| 情報技術者実践コース（実践コース） |     |
| 情報技術者基礎コース（基礎コース） |     |
| IT会計ビジネス科         | 20名 |

## 2 入学試験日程

|                | 出願期間           | 試験日      | 合格発表      | 入学手続期間         |
|----------------|----------------|----------|-----------|----------------|
| 推薦入学試験         | 10月18日(月)<br>～ | 11月6日(土) | 11月11日(木) | 11月15日(月)<br>～ |
| 社会人特別入試（第1期）   | 11月1日(月)       |          |           | 11月29日(月)      |
| 一般入学試験<br>（前期） | 11月15日(月)<br>～ | 12月4日(土) | 12月9日(木)  | 12月13日(月)<br>～ |
| 社会人特別入試（第2期）   | 11月29日(月)      |          |           | 12月27日(月)      |
| 一般入学試験<br>（中期） | 12月20日(月)<br>～ | 1月22日(土) | 1月27日(木)  | 1月31日(月)<br>～  |
| 社会人特別入試（第3期）1  | 1月17日(月)       |          |           | 2月14日(月)       |
| 一般入学試験<br>（後期） | 3月7日(月)<br>～   | 3月23日(水) | 3月25日(金)  | 3月25日(金)<br>～  |
| 社会人特別入試（第4期）   | 3月18日(金) ※1    |          |           | 3月29日(火) ※1    |

※1 入学手続期間は、3月29日(火)12時まで

## 3 募集区分

|            |       | 生産エンジニアリング科 | 情報通信システム科 |       | IT 会計ビジネス科 |
|------------|-------|-------------|-----------|-------|------------|
|            |       |             | 実践コース     | 基礎コース |            |
| 推薦<br>入学試験 | 一般推薦  | ●           | ●         | ●     | ●          |
|            | 指定校推薦 | ●           | ●         |       | ●          |
| 一般<br>入学試験 | 前 期   | ●           | ●         | ●     | ●          |
|            | 中 期   | ●           | ●         | ●     | ●          |
|            | 後 期   | ●           | ●         | ●     | ●          |
| 社会人特別入学試験  |       | ●           |           |       | ●          |

## 4 試験科目（全ての入学試験に面接試験有）

|            |        | 生産エンジニアリング科 | 情報通信システム科 |       | IT 会計ビジネス科 |
|------------|--------|-------------|-----------|-------|------------|
|            |        |             | 実践コース     | 基礎コース |            |
| 推薦<br>入学試験 | 一般推薦   | 数学Ⅰ ※1      | 面接のみ      | 数学Ⅰ   | 作文         |
|            | 指定校推薦  | 面接のみ        | 面接のみ      |       | 面接のみ       |
| 一般<br>入学試験 | 前・中・後期 | 数学Ⅰ         | 数学Ⅰ       | 数学Ⅰ   | 小論文        |
| 社会人特別入学試験  |        | 数学Ⅰ         |           |       | 面接のみ       |

※1 技能検定（3級以上）合格者は、数学Ⅰの試験免除有

## 教 員



副校長（兼）教授 志田 長

4 月から庄内校にお世話になっております志田です。これまで山形校では電気制御系を、こちらに来て、電子系のハードウェア、ファームウェアを担当しております。庄内勤務は初めてで、学窓からの雄大な鳥海山の眺望に心あられています。本校学生が身に付けるべき知識・技術と夢を持って元気に過ごせる環境をサポートし、地域企業の発展に貢献できるように鋭意努力する所存ですのでよろしくお願い致します。

## 事 務 局



副校長（兼）事務局長 石塚 宗

庄内総合支庁から異動してまいりました。学生の皆さんのチャレンジを精一杯サポートし、本校での2年間の学習を通じて、自身の活躍の場をみつけてもらいたいと考えています。そして、地域産業界との懸け橋として、技術とやる気を持った学生を1人でも多く送り出していけるよう頑張ります。皆様の変わらぬ御支援を宜しくお願い申し上げます。



総務主査 高野 淳子

4月より総務課でお世話になっております。鶴岡市榎引地区の出身で、酒田市での勤務は2回目になります。

主に学校の維持管理の仕事を担当しておりますので、学生の皆さんが安全に学校生活を送れるよう環境づくりに努めたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



教務厚生推進員 村上 すみれ

教務学生課・教務厚生推進員としてお世話になっております。

様々な学校行事のお手伝いをさせていただいております。学生の皆さんが充実した学校生活を送れるよう、頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

## 転出者等

|            |       |                    |
|------------|-------|--------------------|
| 副校長（兼）事務局長 | 松田 茂  | 転出（庄内総合支庁地域産業経済課へ） |
| 教育主幹（兼）教授  | 渡辺 雄二 | 転出（産業技術短期大学校山形校へ）  |
| 総務主査       | 小林 実  | 転出（庄内総合支庁用地課へ）     |
| 教務厚生推進員    | 阿部 由利 | 退職                 |

## 編 集 発 行

山形県立産業技術短期大学校庄内校教育振興会

〒998-0102

山形県酒田市京田三丁目57番4号

TEL0234-31-2300・FAX0234-31-2770

## 編 集 後 記

「郷音」の編集に携わってこれました庄内校総務課長の蛸井善久さんが本年8月にお亡くなりになりました。蛸井さんは平成27年に赴任されて以来、御病氣と向き合いながらも常に全力で仕事に取り組み、管理部門の要として庄内校運営を支えていただきました。これまでの蛸井さんの御尽力に深く感謝申し上げますとともに、心より御冥福をお祈り申し上げます。